

一般質問



下 松
議 員

- 一、市民病院、診療所運営について
二、ごみ収集、管理について

質問

一、(1)市民病院の基本方針が存続から有床診療所化に変わった理由は。(2)有床診療所化に向けての今後の作業は。(3)診療所になった場合のベッド数は。また、結核病床はどうなるのか。(4)福島診療所の医師確保状況は。福島診療所の中期経営計画(19年度から23年度)では、医師2名体制となっているが。(5)医師住宅に居住してもらうよう、強く要望することについての考えは。

二、(1)リサイクル品の管理状況は。(2)リサイクル品の盗難事例とその対策は。(3)実際に聞いた話だが、現場を見て警察に通報したが、一旦所定の場所に出された物は、警察では被害届が出てこないと対処できないとのことだが、担当課として承知していたか。(4)不法投棄についての対応は。(5)鷹島のごみ収集状況は。(6)リサイクル品等は、業者に委託料を支払って搬出しているとのことだが、リサイクル品だから反対に料金をもらうていいと思うが。

他に、国民宿舎つばき荘について質問しました。

答 弁

一、(1)一般病床35床とリハビリテーション科新設の裏付けができないこと、医師確保の見通しが立たないこと等である。(2)診療所の機能、規模や人員体制の検討と法的な手続きがある。(3)一般病床19床を考えている。医療法上、診療所は全体的な病床数が19床となっているが、結核病床について特例的な取り扱いができないか検討をお願いしている。(4)診療所においていただく結論に至っていない。あり方検討委員会の答申に沿って、医師1名体制でご理解いただくよう協議してまいりたい。(5)引き続き、所長に要請してまいりたい。

二、(1)リサイクル品も含めたごみステーションの管理は、地区、利用者にお願している。(2)今年2件の事例があり、ステーションの監視を行った。(3)きちんとした条例等があれば、捜査等もできると聞いている。(4)捨てた人が特定された場合、指導を行っている。(5)鷹島環境センターで燃えるごみ、資源物及び粗大ごみの取り扱いを行っており、資源物、粗大ごみは業者委託で、島外搬出している。(6)そのとおりである。

一般質問



原 吉
議 員

- 一、水田裏利用飼料生産供給事業等への取り組みについて
二、志佐川河口堰の魚道改良及び汽水域の設置について

質問

一、(1)農業分野でも燃油、肥料、飼料等生産資材の高騰と生産販売価格の下落、特に肉用牛子牛価格は前年比20%の下落である。肉用牛の飼養には良質粗飼料の確保が欠かせないと考え。水田裏利用飼料生産供給事業はどのような事業か。(2)松浦市が事務手助けの声を上げ、他の2市4町への水紋が広がることは大いに結構なことである。事務事業の手助けで、それが取り組み可能であるのなら、是非当市として取り組んでいただきたいが、市長の考えはどうか。

二、私たちは、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐ責任があります。笛吹ダムが完成し、安定した水量が確保された今、自然の再生に取り組みする必要があります。中央転倒堰の上流部にコンクリート製の段々状の魚道を設置すれば、転倒堰の耐用年数経過を待たず、すぐに安価に自然が再生できる。また、汽水域を確保し、魚類の繁殖の場を作る必要があると考えらるがどうか。

他に、落合洞窟周辺の公園化、地産地消の推進、二〇一一年地上デジタル放送開始について質問しました。

答 弁

一、(1)3戸以上の農家で構成する営農集団や公社、農協等のほかに、認定農業者であれば個人でも実施できる。期間は平成20年度から26年度までの7年間で、10アール当たり1万円が事業開始から3カ年間補助があるが、事業を5年間継続するという前提がある。(2)飼料が高騰する中、粗飼料の確保は大変重要であると考え。関係市町と農林課長会等を開いていただき、JAながさき西海農協管内市町が連携してこの事業を推進できるように検討を指示したところである。

二、笛吹ダムも完成し、工業用水道事業として残された課題は、魚道の改良であると考えている。河川法との関係もあり、専門的な知識を有するコンサルタントに委託して、どうあるべきか検討してまいりたい。また、汽水域の設置の件は、河川が県管理であることから、県に相談したところ、今年度対応したいとのことであった。